「夢に向かって 明るく しなやか 豊岡の子ども」

あかまつ

豊岡小学校
校長室だより　ＮＯ.２１
Ｈ３１．８．３０

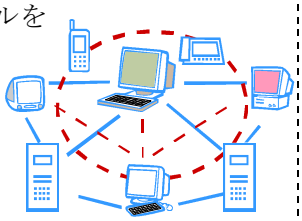
情報モラル教室

２７日（火）５校時、３～６年生が参加して、大仙市情報モラルいじめ対策事業「情報モラル教室」が、本校の体育館で行われました。

ＮＴＴ東日本秋田支店から２名の講師の方が来校し、スクリーンに絵やアニメーションを映し出しながら、丁寧に、わかりやすく説明してくれました。子どもたちも、メモをとりながら、真剣に話を聞いていました。

説明の中で、子どもたちに質問をして、手を上げてもらう場面が何度かあったのですが、私が思っていた以上に、子どもたちのインターネット等に関する知識と経験が豊富なことに少し驚きました。併せて、このような「勉強」の場が、子どもたちにとって必要なものであること、家庭内でルールを決め、守っていくことが大切であること等を、再確認しました。

〇まとめ：インターネットは…
・向こう側には人がいることを忘れないで、相手のことをよく考えながら使いましょう。
・子どもだけが使っているわけではありません。大人と同じルールを守って使いましょう。
・何か困ったことがあったら一人でなやまずに、必ずおうちの人や先生に相談してください。



また、「無料wi-fiの中には、無料で接続させることで、使用機器内のデータを盗んだり、ウイルスを送りつけたりするものもあるので、注意が必要」と教えてもらいました。

インターネットは便利で、将来の子どもたちに必要なものですから、これからも、ルールを守って、安全に、楽しく使いましょう！

【情報モラル教室の様子】

中学生・高校生になると、子どもたちのスマートフォン等に関する知識や技能はより高度になり、保護者が追いつけない状態になる場合が多く見られます。私は、「ブログ」「掲示板」「ＳＮＳ」の違い等を自分の子どもから教えてもらった経験がありますし、今もスマートフォンの面倒な設定等は子どもにしてもらうことがあります。知識や技能は子どもにかないませんが、保護者として、「健康への配慮」「使用上のモラル」「詐欺等への警戒」等は指導しています。これからも、自分ができる範囲で、保護者としての責任は果たしていきたいなと思っているところです。

クマ出没に関する注意喚起！

秋田県より、ツキノワグマ出没に関する警報が発令されました。これから９月にかけて、生息区域においてクマのエサとなるものが不足する時期になることから、今後、山林に近接する住宅地や農地周辺への出没による人身被害等の発生が危惧されます。どうか、各ご家庭でも事故の未然防止へのご協力を、よろしくお願いします。

【発令期間】
当初（注意報）　７月１１日～８月３１日
切替（警　報）　８月２１日～９月３０日

【発令理由】
・８月に複数件の人身被害が発生し、今後の被害発生が危惧されるため
・ブナの結実予測が大凶作となっており、人里等への出没が懸念されるため
・有害鳥獣として捕獲された頭数が例年を大幅に上回っているため

大曲図書館へ行ってきました！

２７日２～４校時、２年生が生活科の学習で大曲図書館へ行ってきました。公共施設を正しく使用したり、施設で働いている人や施設そのものへの理解を深めたりすることが目的です。

子どもたちは、職員の方の話をメモしながら聞いたり、自分の好きな本を探したりと、充実した時間を過ごしたようです。「豊岡について書いてある本があったよ！」と教えてくれた子どももいました。電子機器の普及が進む世の中ですが、本に親しみ、様々な本を読むことは、子どもの成長には欠かせないことです。保護者の方が本を読んでいると、子どもたちも一緒に本

を読む傾向が強くなるようです。雨天を利用して、読んでいる本の内容等の情報交換をしながら、「家族で読書」という休日の過ごし方もよいのではないでしょうか。

【大曲図書館にて】

さて、「読書の秋」もすぐそこまでやってきていますが、保護者の皆さんは、１ヶ月に何冊の本を読みますか？日本人の平均を調べてみると、年間１２か１３冊、月に２．５８冊などのデータが見つかりましたが、本の種類や厚さ等の条件が異なるので、はっきりはしないようです。

また、「読書量と年収は正比例する」ということを研究している人もいるようでした。ただ、読書量を増やしても正比例して、すぐに年収が増えるとは考えにくいですので、まずは１冊の読みたい本を見つけて、時間をかけて読んでみようかなと思っているところです。

こころの健康講演会

２９日（木）３校時、大仙市こころの健康講演会出前講座が、５・６年生を対象に、本校の図書室で行われました。「いのちの尊さや大切さについて考える機会を早期から設けることで、児童の健全な心身の育成といじめの防止や円滑な人間関係の構築により、心の健康の維持・増進を図る」ことが目的です。１年おきに行われている事業です。

この日は、助産師さん２名、保健師さん２名が本校に来てくださり、次のような流れでお話をし、様々な体験をさせてくれました。

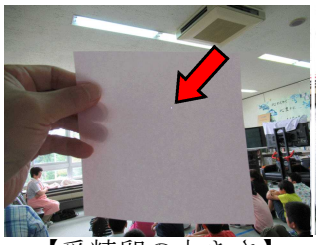
１　助産師の仕事の内容や、助産師になるための進路などの紹介
２　産まれた時の一番最初の実際の赤ちゃんの泣き声（産声）の視聴
３　紙に開けた穴を光に透かして、受精卵の大きさの確認
４　男の子と女の子の体のしくみの説明
５　妊娠３ヶ月・５ヶ月・７ヶ月・産まれたばかりの赤ちゃん模型のだっこ体験
６　お腹の中にいる赤ちゃんの心臓の音の視聴
７　妊婦（の大変さ）体験
８　児童による出産の際の赤ちゃんの疑似体験

子どもたちは、助産師さんの話を真剣に聞き、笑顔で様々な体験をしたことで、生命の不思議さ、命の尊さ、家族への感謝の気持ち等を感じていたようです。

そして、最後のまとめとして、助産師さんから、次のことについてお話がありました。

・待ち望まれて生まれてきた命
・皆に喜びと幸せを分け与えてくれました
・生きる力をもって生まれてきた
・たった一つの大切ないのち
・自分の命を大切にすること＝他の命を大切にすること
・生きているだけで１００点満点
・お誕生日＝命の記念日

今回、講演会が終わって、図書室を出る時の子どもたちの穏やかで温かみのある表情がとても印象的でした。また、助産師さんから、本校の子どもたちについて、「どうして、豊岡の子どもたちはいい子どもたち（私たちが話す時に、きちんと話を聞いてくれる。体験を勧めた時に、素直に参加してくれる。など）なんですか？」「人数が少ない学校はたくさんあるけれど、豊岡の子どもたちは格別です。」とお褒めの言葉をいただきました。とても、ありがたく、うれしいことです。



【受精卵の大きさ】

【体の仕組みの説明】

【赤ちゃん模型のだっこ体験】

【妊婦体験】

【疑似体験】

学習発表会のテーマ　決まる

２８日（水）放課後、代表委員会が開催され、今年度の学習発表会のテーマが決まりました。

近々、発表されるようです。どうか、お楽しみに！

【代表委員会の様子】